

〈特集：シンポジウム・第25回年次学術集会より〉

序文；特集「そこが知りたい！新人教育と日当直業務内容」

荒木 秀夫

We should understand the training for newcomer staff and the laboratory test contents on night and holiday duties

Hideo Araki

Summary It has become mandatory for newcomer staff to conduct clinical tests in 24-hour laboratories, where patients are admitted to the emergency room at night and on holidays. If they fail to provide the test results to the clinicians, the diagnosis and treatment process is disrupted.

In addition, newcomers should be provided with education and training of the operating procedures, and we should refer to the training systems of each facility. This will help in securing the quality of test results, even if they are conducted by newcomer staff.

It is difficult to conduct all laboratory tests while working in a 24-hour system; therefore, it is necessary to train the employees based on the requirements of each facility.

We organized a special lecture by four medical technologists called "We should train newcomer staff for laboratory testing when on night and holiday duties," which proved to be useful for each facility.

Key words: Newcomer staff, 24-Hour system, ISO 15189, Standard operating procedure, Education and training

診療の現場において夜間・休日時に救急室・救命センターで患者受け入れを実施している施設では、24時間体制での検査業務が必須となっている。重要な検査項目の検査結果が提供できない場合、診断・治療に支障が発生する状況となる。現在、日常業務担当後にそのまま勤務を続ける当直業務から夕方から朝まで勤務する夜間勤務へとシフトする施設が増加している。人の命を預かる重要な検査結果を提供するためには、日常業務で疲れ切った身体状況にさらに負荷をかける業務体制は見直す必要がある。

また、新入職員および異動した技師への教育・研修は、非常に重要であり、各施設において優れたトレーニングシステムがあれば、ぜひ参考にしたい内容である。臨床側へ提供される検査結果は、質の担保が重要課題であり新人が実施したために質の低下と指摘されることを避けなければならない。

そして夜間・休日時の検査では、すべての項目24時間体制は、困難であるため施設の状況に則した項目の選定が必要であるが、他施設での実施内容は参考となる。装置のバックアップ体

日本大学医学部附属板橋病院臨床検査部
〒173-8610 東京都板橋区大谷口上町30-1

Department of Clinical Laboratory, Nihon University
School of Medicine
30-1 Oyaguchi-Kamichou, Itabashi-ku, Tokyo 173-8610

制を含め、効率的に迅速に報告できる検査体制の構築が望まれている。

今回、特集「そこが知りたい！新入教育と日常直業務内容」を組み4名の臨床検査技師の方に新人教育と夜間・休日検査に関して講演をしていただいた。

はじめに①臨床化学検査の新人研修と題して虎の門病院の金原清子技師に講演していただき、秤量、ピペットの検定や分光光度計の原理など新人および若手技師には、ぜひ学んでもらいたい内容であった。②当院における初期ローテーション教育についてと題して、東京女子医科大学病院の平木一嘉技師に講演していただいた。新人のローテーション教育が確立されており非常に参考となった。③新人教育と当直トレーニングと題し、帝京大学医学部附属病院の木

村美智子技師に講演していただき、帝京大学も東京女子医大と同様にローテーションを実施し新人の教育と日常直業務のトレーニング体制が非常に参考となった。④臨床検査部24時間体制の現状と新人職員に対する教育と題し、日本大学医学部附属板橋病院の武居宣尚技師に講演していただき、多項目24時間体制の紹介と新人教育であるが、新人は部門に配属後に担当業務を習得しながら夜間・休日業務の教育を同時に実施している。チェック表を用いて力量を評価するシステムは技術と知識の習得に有効と思われた。

今回、4施設からの実施内容は、各施設で非常に興味深く参考となる点が多く、特集にふさわしい講演内容であった。